



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東名

上場会社名 菊水化学工業株式会社

コード番号 7953 URL <http://www.kikusui-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山口 均

問合せ先責任者 (役職名) 理事 管理本部長

(氏名) 稲葉 信彦

TEL 052-300-2222

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	15,403	△1.4	773	△0.6	809	△1.5	217	△52.9
26年3月期第3四半期	15,618	6.5	777	27.8	822	30.3	461	25.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 385百万円 (△26.0%) 26年3月期第3四半期 520百万円 (33.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	20.51	—
26年3月期第3四半期	44.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	16,632		9,411		56.6	
26年3月期	15,975		8,012		50.1	

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 9,410百万円 26年3月期 8,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	9.00	14.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	9.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△1.2	830	6.6	846	3.0	192	△57.4	15.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	12,744,054 株	26年3月期	10,716,954 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	289,493 株	26年3月期	362,894 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	10,595,110 株	26年3月期3Q	10,294,300 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(追加情報)	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)におけるわが国経済は、政府による景気回復策や日銀の金融緩和策等により、引き続き景気回復の基調が見られました。しかし、消費税率引き上げからの個人消費は持ち直しつつはありますが、全般的な物価上昇の影響もあり、本格的な消費回復とは言えない状況にあります。また、原油価格が急激に下落していることや、欧州経済の先行きに不透明感が生じてきていることなど、今後の景気に与える影響は不透明であります。

このような状況のもと、当社グループは、従来の経営方針である「安全第一・品質第一・環境第一・顧客第一」>「下地から仕上げまで～技術力の創造～」とともに新たに「総合塗料メーカーをめざす」方針を打ち出しました。そして戸建住宅や集合住宅の改修工事において、充実した製品ラインナップを進め、ワンストップでお客様のニーズに応えていけるよう努めてまいりました。

さらに、平成26年10月31日付で必要な経営資源を集中させるため、セラミック事業部門を事業譲渡いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は154億3百万円と前年同四半期と比べて2億14百万円の減収を計上することになりました。

また、利益面につきましては、営業利益は7億73百万円と前年同四半期と比べ4百万円の減益、経常利益は8億9百万円と前年同四半期と比べ12百万円の減益、四半期純利益2億17百万円と前年同四半期と比べ2億43百万円の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(製品販売・工事)

製品販売・工事においては、消費税率引き上げによる需要の反動の影響がある状況のなか、「総合塗料メーカーをめざす」という新たに掲げた方針のもと、新ロゴ「K's(キーズ)」を冠した製品を前年に引き続き市場に投入するとともに、「フッ素革命」と題し耐候性の優れたフッ素塗料をパッケージ化し、市場での普及促進に努めました。

そして、戸建住宅や集合住宅の改修工事、官公庁受注案件における下地材・仕上材の売上の確保に努めました。また、更なる施工体制の強化と信頼性向上を目指す当社の姿勢を施主、元請、取引先より高く評価を頂くとともに、新製品であるリフォーム用の「デラフロン」シリーズを市場に投入いたしました。

その結果、製品販売・工事の売上高は150億7百万円と前年同四半期と比べて1億42百万円の減収となり、セグメント利益(営業利益)は7億40百万円と前年同四半期と比べ10百万円の増益となりました。

(セラミック)

セラミックにおいては、「総合塗料メーカーをめざす」という新たな方針のもと、事業の選択と集中を行い必要な経営資源を集中させるなかにおいて、平成26年10月に事業譲渡を行いました。その結果、セラミックの売上高は3億95百万円と前年同四半期と比べて72百万円の減収となり、セグメント利益(営業利益)は33百万円と前年同四半期と比べ、14百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は166億32百万円(前連結会計年度末比6億57百万円増)となりました。

これは主として有償一般募集及び有償第三者割当に起因して現金及び預金が14億46百万円増加し、セラミック事業部門の事業譲渡に起因して建物及び構築物が1億28百万円、土地が6億54百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は72億21百万円(前連結会計年度末比7億40百万円減)となりました。

これは主として短期借入金が2億円、未払費用が4億4百万円、未払法人税等が2億54百万円が減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は94億11百万円(前連結会計年度末比13億98百万円増)となりました。

これは主として有償一般募集及び有償第三者割当に起因して資本金が5億78百万円、資本剰余金が5億78百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1億65百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予測数値と異なる可能性があります。

なお、昨年8月18日リリースのとおり、セラミック事業部門を平成26年10月31日付で事業譲渡いたしました。

今後、市場状況により変動する可能性があります。通期の業績予想数値につきましては平成26年12月16日公表時から変更しておりません。変更の必要性が生じた場合は確定次第速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

項目	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
税金費用の計算	当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計処理)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しております。割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が34,452千円増加し、利益剰余金は22,290千円減少しております。なお、損益に与える影響は軽微であります。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い)

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を第1四半期連結会計期間より適用し、信託から従業員持株会に売却された株式に係る売却差損益、信託が保有する株式に対する当社からの配当金及び信託に関する諸費用の純額を負債に計上しております。

なお、当実務対応報告適用による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い)

当社は、従業員への福利厚生を目的として、従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

(1) 取引の概要

当社が「菊水化学工業社員持株会」(以下「当社持株会」)に加入する従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者とする信託を設定し、当該信託は平成23年9月から平成28年10月までの5年間にわたり当社持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を、予め定める取得期間中に取得します。その後、当該信託は当社株式を毎月一定日に当社持株会に売却します。

当社株式の取得及び処分については、当社と信託口は一体であるとする会計処理をしております。従って、信託口が所有する当社株式を含む資産及び負債並びに損益については四半期連結貸借対照表及び四半期連結損益計算書に含めて計上しております。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度63,296千円、129千株、当第3四半期連結会計期間26,840千円、54千株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

前連結会計年度90,000千円、当第3四半期連結会計期間60,000千円

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,765,085	5,211,930
受取手形及び売掛金	5,557,036	5,457,829
商品及び製品	572,011	678,893
仕掛品	143,605	142,100
原材料及び貯蔵品	339,063	330,375
繰延税金資産	243,001	243,001
その他	350,798	405,771
貸倒引当金	△2,872	△4,948
流動資産合計	10,967,730	12,464,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	614,972	486,881
機械装置及び運搬具(純額)	117,565	75,040
土地	1,497,931	843,590
リース資産(純額)	119,512	88,327
その他(純額)	62,021	115,709
有形固定資産合計	2,412,003	1,609,549
無形固定資産		
のれん	11,949	3,222
その他	77,098	61,357
無形固定資産合計	89,048	64,579
投資その他の資産		
投資有価証券	1,710,098	1,707,525
繰延税金資産	128,742	68,098
長期預金	510,000	510,000
その他	171,147	217,796
貸倒引当金	△13,701	△9,672
投資その他の資産合計	2,506,285	2,493,749
固定資産合計	5,007,337	4,167,878
資産合計	15,975,068	16,632,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,460,677	3,625,152
短期借入金	1,450,000	1,250,000
1年内償還予定の社債	68,800	68,800
1年内返済予定の長期借入金	153,272	83,272
未払法人税等	255,002	122
完成工事補償引当金	54,062	41,039
その他	1,355,864	1,016,777
流動負債合計	6,797,679	6,085,163
固定負債		
社債	144,800	96,000
長期借入金	336,376	336,422
役員退職慰労引当金	112,231	127,784
退職給付に係る負債	457,140	470,721
その他	114,068	105,710
固定負債合計	1,164,616	1,136,638
負債合計	7,962,296	7,221,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,394,100	1,972,735
資本剰余金	1,092,160	1,670,795
利益剰余金	5,498,432	5,546,710
自己株式	△181,259	△145,251
株主資本合計	7,803,433	9,044,989
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	205,999	371,224
退職給付に係る調整累計額	△6,752	△5,847
その他の包括利益累計額合計	199,247	365,376
少数株主持分	10,091	665
純資産合計	8,012,772	9,411,032
負債純資産合計	15,975,068	16,632,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	15,618,086	15,403,259
売上原価	11,420,385	11,259,449
売上総利益	4,197,701	4,143,810
販売費及び一般管理費	3,419,704	3,370,159
営業利益	777,996	773,651
営業外収益		
受取利息	3,281	18,967
受取配当金	33,040	21,567
仕入割引	1,225	1,445
受取ロイヤリティー	10,855	9,541
その他	25,677	24,160
営業外収益合計	74,080	75,682
営業外費用		
支払利息	15,893	13,678
売上割引	8,341	10,106
株式交付費	—	12,981
その他	5,769	2,756
営業外費用合計	30,004	39,521
経常利益	822,073	809,811
特別利益		
固定資産売却益	321	—
投資有価証券売却益	—	2,786
負ののれん発生益	—	7,629
特別利益合計	321	10,415
特別損失		
固定資産除却損	1,056	24,079
事業譲渡損	—	412,476
災害による損失	22,529	—
特別損失合計	23,585	436,555
税金等調整前四半期純利益	798,809	383,672
法人税等	337,396	164,877
少数株主損益調整前四半期純利益	461,413	218,795
少数株主利益	167	1,468
四半期純利益	461,246	217,326

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	461,413	218,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,049	165,431
退職給付に係る調整額	—	904
その他の包括利益合計	59,049	166,335
四半期包括利益	520,462	385,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	520,390	383,455
少数株主に係る四半期包括利益	72	1,675

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年12月15日を払込期日とする有償一般募集、平成26年12月19日を払込期日とする第三者割当を実施いたしました。

その結果、当第3四半期累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ578,635千円増加し、当第3四半期会計期間期末において、資本金が1,972,735千円及び資本剰余金が1,670,795千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	製品販売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	15,149,903	468,183	15,618,086	15,618,086
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	15,149,903	468,183	15,618,086	15,618,086
セグメント利益	729,927	48,069	777,996	777,996

(注) 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	製品販売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	15,007,682	395,577	15,403,259	15,403,259
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	15,007,682	395,577	15,403,259	15,403,259
セグメント利益	740,415	33,235	773,651	773,651

(注)1. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致しております。

2. セラミック事業部門は、平成26年10月31日に事業譲渡を行い、当事業から撤退しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。